

コールセンター 情報仲介役に 塩尻のNPO 提案が最優秀賞



情報仲介事業のアイデアを小口利幸塩尻市長(右)に説明するNPOメンバー

塩尻市のNPO法人「長野サマライズセンター」(理事長・不破泰信 大大学院教授)はこのほど、名古屋市内で開かれた「企業&NPO協働アイデアコンテスト」で最優秀賞を受賞した。企業でコールセンターの仲介で障害者や高齢者に店舗

や行政の情報を伝えることとの提案で、二十三日、塩尻市役所で小口利幸市長に受賞を報告した。センターは、大学や講演会の会場で聴覚障害者や高齢者向けの要約筆記などに取り組んでいる。十八日のコンテストで提案したのは、コールセ

ンターに聴覚障害者らが電子メールで店の商品や価格について問い合わせ、店舗から聞いた情報をセンターがメールで返信するといった仕組み。「実現性が高い」と高い評価を得たという。

コンテストは中部産業活性化センター(名古屋)などが、NPOと企業の接点を作ろうと企画。長野のほか、愛知、岐阜県などから十三団体と約三十社が参加した。

長野サマライズセンターは、コールセンターを持つ県内企業などに取り組みを働き掛けていく方針。小笠原恵美子副理事長(48)から説明を聞いた小口市長は「(障害者や高齢者が)自立した人生を送るための良いアイデア」と話していた。